

レセプト情報等利活用の推進に向けた取組み

平成26年12月5日

厚生労働省保険局医療介護連携政策課
保険システム高度化推進室

説明会参加者、データ利用者へのアンケート結果

アンケートの概要

- (目的)説明会参加者(申出者除く)に対し、申出に至らなかった理由等の把握のため、また、データ利用者に対し利用手続きやデータの質等に関する感想・意見の聴取のため、メールによるアンケートを行った。
- (対象)説明会参加者(申出者除く):第3回、第4回事前説明会に参加したが、申出に至らなかった者
利用者:レセプト情報等の提供を受けた申出者(サンプリングデータセット利用者を除く)
- (内容)「申出を行わなかった理由」「手続きに関する意見」「データに関する意見」「実際に取り扱った上での意見(利用者のみ)」等について質問した。
- (回収結果)説明会参加者8名、利用者7名から回答を得た。

主な意見・要望

【説明会参加者(申出者除く)】

1. 申出を行わなかった理由について

- ・セキュリティ要件を確保することができなかった。
- ・手続きや医療データの解析を行える人員を準備できなかった。

2. 利用環境の整備について

- ・専用の部屋を確保するのが非常に難しい。
- ・市や保険者から提供されたレセプトと同等の要件として欲しい。
- ・解析を業者に委託することを可能にして欲しい。
- ・基盤の弱い施設の利用者に対し、要件を満たす施設を設けてもらい、データを活用する道を開いてもらえるとう有難い。

3. データについて

- ・データの構造がわからず、どのような分析ができるか自信がない。

4. その他

- ・レセプトデータはニーズも高く、いつか利用できれば、と考えている。
- ・厚生労働統計での公表データがもう一段詳しくなった程度のデータでも十分活用出来る。詳細な集計表作成についての相談ができれば有難い。

【利用者から】

1. 申出手続き、審査について

- ・審査基準があいまいである印象を受けた。
- ・添付すべき文書が多く、また過剰と思われる書類があり、煩雑である。
- ・同じ内容の研究を今後反復して申出する場合には、手続きを簡素化できないか。

2. 要求されているセキュリティ水準について

- ・セキュリティ要件を満たすための準備に相当のリソースを要した。
- ・禁止事項だけでなく、これを満たせば良いという事項の提案が欲しい。
- ・厳しすぎて形骸化しかねないような過剰な制限ではなく、個々が達成できる水準でのセキュリティ要件を示してほしい。

3. データについて

- ・構造に関する理解に時間を要した。参照できる資料があると有難い。
- ・付与されている2種類のハッシュIDのいずれにも揺れがあるため、患者の同一性が確保されず、研究に支障をきたす。
- ・任意の入力項目がどの程度入力されているのかがわからない。

4. その他

- ・受け取ったデータを実際に研究に使える形に構築しなおすのに一定の期間を必要とする。これを鑑みると、1年という利用期間は短い。
- ・データの質を保証するための仕組みを構築するべきではないか。
- ・利用者が、後進を助けることを義務化してもよいのではないか。
- ・公的データとの連結は認めてもよいのではないか。

レセプト情報等提供に係る利活用推進のこれまでの取組み

① 利活用推進のためのデータセット開発

- ✓ 平成24年より探索的研究が可能でセキュリティ要件も簡易なサンプリングデータセット等の提供を開始
- ✓ これまで16件の提供を承諾

② レセプト情報等の提供に関するガイドラインの改正

(平成25年8月、平成26年10月)

- ✓ 集計データ、サンプリングデータセットを利用する場合のセキュリティ要件の緩和
- ✓ サンプリングデータセットの利用する場合の公表要件の緩和
- ✓ 公表基準等の明確化 等

③ 提供申出のための説明会の実施

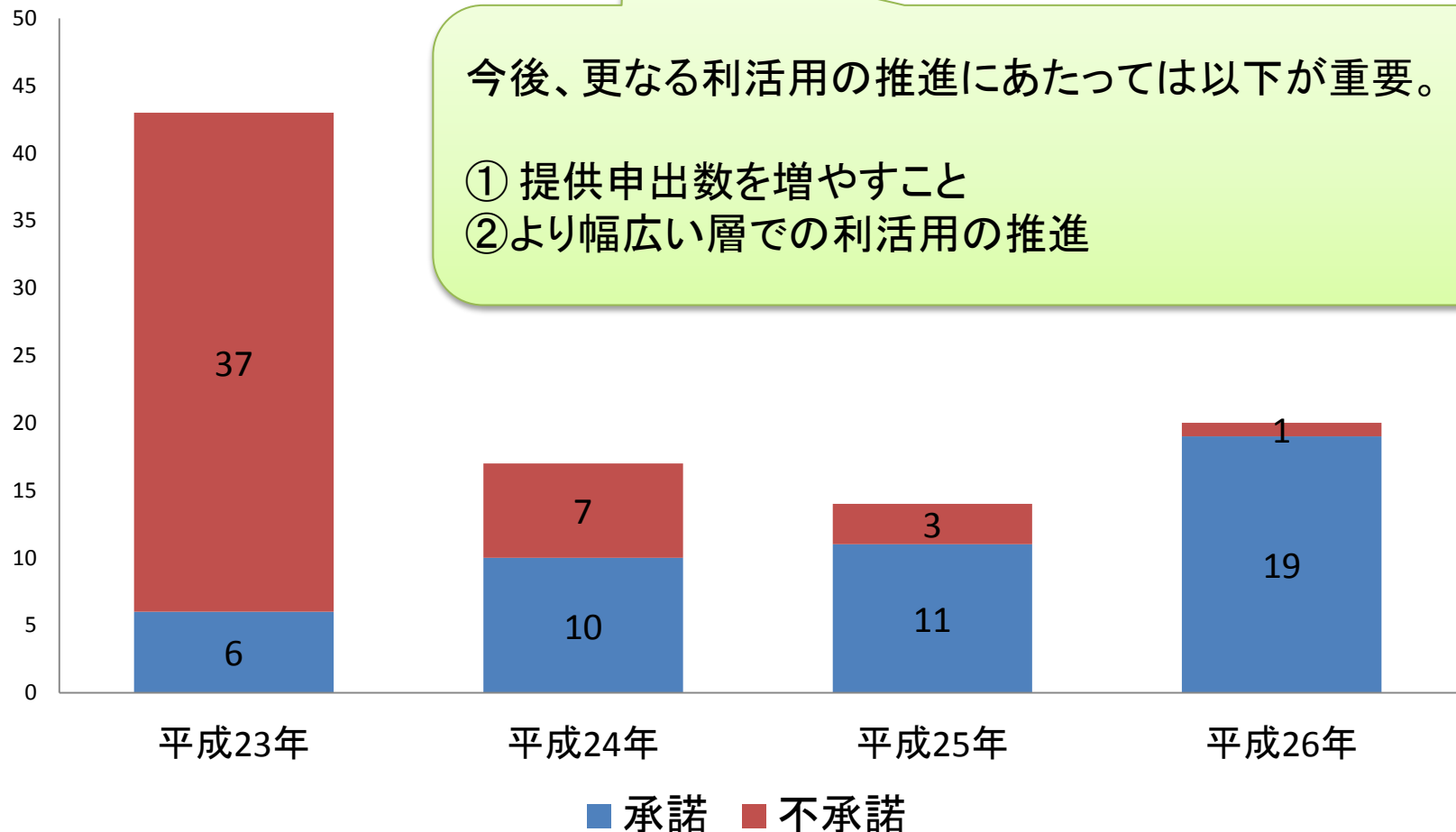
- ✓ 平成23年以降、5回の説明会(レセプト構造、申出手続、既利用者の研究成果)を実施
- ✓ 平成26年度からはビデオによる提供に移行

④ 提供申出者の手続支援

- ✓ 提供申出者のためのマニュアルの公開
- ✓ 提供申出の手続きに関する説明ビデオの作成(→Youtubeで公開済み)
- ✓ 提供申出者からの相談対応部門の設置

レセプト情報等提供に係る承諾等の推移

レセプト情報等の審査については年々円滑化が図られており、平成26年の承諾件数は平成23年の3倍程度となる一方、不承諾については急激に減少している。



更に提供申出を増やすためには

- NDBを活用した研究の手法の確立と共有
 - ✓ どのような分析を行えば著名な学術誌に掲載されやすいかが研究者の間である程度見えてくること
 - ✓ さらにそうした手法が研究者の間で共有されること
- レセプト情報等提供に関する周知
 - ✓ 医療分野等の研究者にレセプト情報等の提供について広く周知されること
- 利用しやすい環境等の整備
 - ✓ セキュリティ環境に関する支援等
 - ✓ 審査の更なる円滑化等

レセプト情報等提供に係る利活用推進の今後の取組み

提供申出の掘り起こしのための取組み

- 例えばワークショップの開催等による研究者等へのPRの実施や研究ノウハウの普及
- レセプト情報等分析を行う研究者をサポートするための素材の開発

より利用しやすくするための取組み

- オンサイトセンターの設置(セキュリティ環境の提供)
- レセプト情報等の提供に向けた審査をより頻回に開催
- レセプト情報等の提供ルール等の検討

※ 行政機関個人情報保護法に関する見直しの動向も注視。

より幅広い層での利用を推進するための取組み

- レセプト情報等の民間提供に関する枠組み等の検討
- レセプト等でどのような分析が可能か国民にわかりやすく示すための集計分析の公表等